

令和4事業年度

決 算 報 告 書

第 19 期

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月31日

国立大学法人 群 馬 大 学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人 群馬大学
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,182	11,328	146	(注1)
施設整備費補助金	1,446	1,032	△413	(注2)
補助金等収入	429	1,662	1,234	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	34	-	
自己収入	33,782	34,466	684	
授業料、入学金及び検定料収入	3,422	3,473	52	(注4)
附属病院収入	30,163	30,760	597	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	197	232	34	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,326	2,662	336	(注6)
引当金取崩	234	307	74	(注7)
長期借入金収入	-	-	-	
目的積立金等取崩	4	767	763	(注8)
計	49,437	52,262	2,826	
支出				
業務費	44,463	44,444	△17	
教育研究経費	13,170	12,987	△181	(注9)
診療経費	31,292	31,456	164	(注10)
施設整備費	1,480	1,066	△413	(注11)
補助金等	181	1,461	1,280	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,326	2,648	322	(注13)
長期借入金償還金	987	986	△0	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	49,437	50,606	1,170	
収入－支出	-	1,656	1,656	

※各欄と合計欄の数字は、単位未満処理の関係で一致しないことがある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、授業料等免除予算等の追加交付、年俸制導入促進費及び教育・研究基盤維持経費に係る特殊要因運営費交付金の追加交付により、146百万円の増額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、追加交付及び交付額を一部次年度に繰り越したことにより、413百万円の減額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金の交付により、1,234百万円の増額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料等免除額が減少し学納金収入が増加したことにより、52百万円の増額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、病床稼働向上の取組に加え、高難度手術や重粒子線治療等を積極的に実施したことにより、597百万円の増額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった受託研究及び寄附金の獲得等により、336百万円の増額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった診療報酬自主返還金の返還請求があったこと及び退職給付に係る所要額の増により、74百万円の増額となっています。
- (注8) 目的積立金等取崩については、当該年度途中で承認され事業計画の変更を行ったため、763百万円の増額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、退職手当が予算段階での見込みに対し減になったこと及び翌期に渡る事業のための繰越等により、181百万円の減額となっています。
- (注10) 診療経費については、診療の増加に伴う医薬品費・材料費の増加や診療に係る退職手当所要額の増加等により、164百万円の増額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、413百万円の減額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)のとおり補助金等収入が増加したことにより、補助金等財源による診療に係る経費等の支出額が1,280百万円の増額となっています。なお、補助金等収入には授業料等減免費交付金が201百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由及び翌期に渡る事業の増加等により、322百万円の増額となっています。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、人件費に関わる支出であります。